

## 観光資源発掘のための地域調査<sup>1</sup> — 奈良県香芝市を対象として —

麻 生 憲 一

### はじめに

奈良県香芝市は、地方都市にあって珍しく人口増加を続けている自治体である。国立社会保障・人口問題研究所によると香芝市の人口は2035年まで増加し、約8.1万人になると予測されている。しかし、一方では、住民の多くは大阪市周辺地域への通勤通学者であり、香芝市内の消費・投資・雇用に結びついていない。いわゆる「ベッドタウン」としての色彩が濃く、定住人口の増加が消費・投資・雇用などの地域経済の活性化に結びついていない。今後、香芝市の成長発展を考えていく上では、定住人口の増加だけでなく、市外から多くの人を呼び込み、交流人口、活動人口という形での増加を目指していくことが必要である。わが国では「地方創生」が重要な政策課題とされる中で、香芝市においても、地域活性化のための起爆剤となり得るものを見つけ出していくことが必要とされる。

本稿は、香芝市を対象とした観光に関する地域調査である。調査手法として、香芝市の住民や来訪者の香芝市の観光に関する意識を質問紙によるアンケート調査で抽出する。特に、歴史的遺構・遺産、文化財、イベントに対する住民の認知度、香芝市内の満足度、特産物や土産品に対する要望などについての意見

を抽出し、整理分析を行う。

## 1. 調査対象地域の概要

### (1) 概況

#### 地理的位置

香芝市は、奈良県の北西部、金剛生駒紀泉国定公園を挟んで大阪府との境に位置し、西は大阪府柏原市、羽曳野市、太子町、北は王寺町、東は上牧町及び広陵町、南は大和高田市、葛城市に面しており、市の面積は 24.26 km<sup>2</sup> である。奈良県の西の玄関口として、古くから主要街道が通っており、大阪方面へ抜ける交通の要衝として発展してきた。道路網は、大阪市から三重県津市を結ぶ国道 165 号、和歌山県新宮市から大阪府枚方市を結ぶ国道 168 号、及び大阪府松原市から名古屋方面にリンクする西名阪自動車道香芝インターチェンジを有している。鉄道網では JR 和歌山線、近鉄大阪線及び近鉄南大阪線が市の中心部を縦横に走り、8 つの駅を有し、大阪市内へは最短 22 分という位置にある<sup>2</sup>。

#### 人口・世帯数

香芝市は、昭和 40 年代以降を中心に郊外住宅地として宅地開発が盛んに行われて、人口が急増してきた。人口は、平成 29 年 7 月 31 日現在で 79,018 人である。全国的には人口減少が進む中で、香芝市の人口は緩やかな増加傾向を示している。奈良県内の自治体の中では、社会増による人口増加が特に顕著である。

#### 香芝市の観光入込客の推移

香芝市の観光入込客の動向を統計的に把握する場合、香芝市独自のものはなく奈良県の観光客動態調査に基づくものに限られる。奈良県観光客動態調査報告書の「二上・當麻」の「二上」とは、香芝市が掌握している「二上山博物館」

## 観光資源発掘のための地域調査

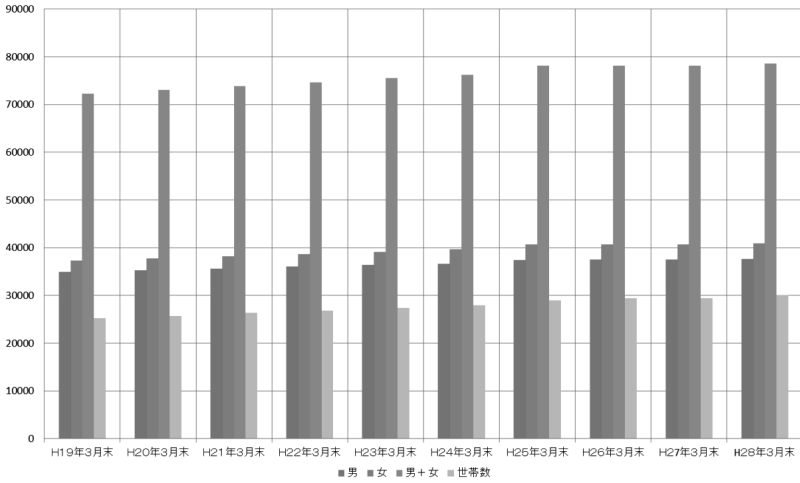


図1 香芝市 10年間の人口と世帯数

資料：香芝市ホームページ

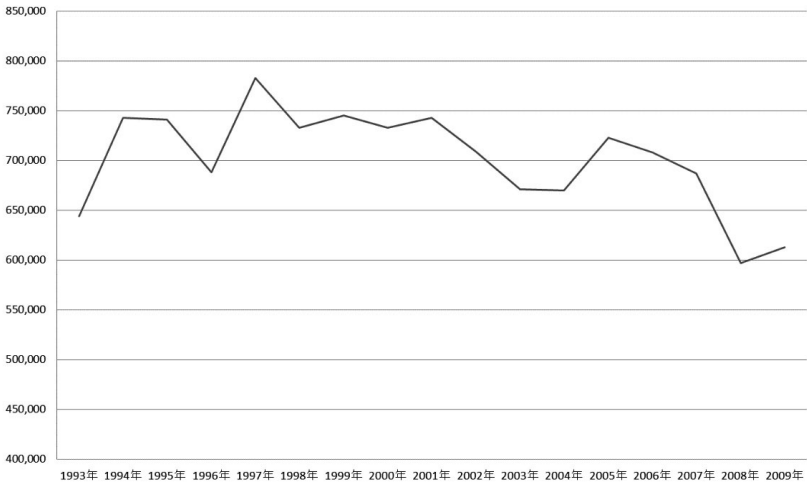


図2 二上・當麻の観光客入込数の推移

資料：奈良県観光客動態調査より作成

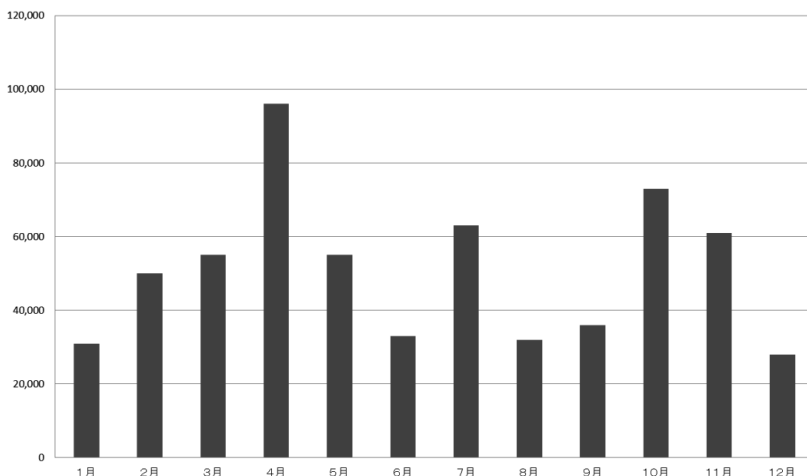


図3 二上・當麻の月別入込数 (2009年)

資料：奈良県観光客動態調査より作成

の入館者数のことである。なお、奈良県観光客動態調査は平成22年から抽出方法が変わり、香芝市はBエリアに分類され、大和高田市、大和郡山市、御所市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町を統合して観光入込客数が推計されており、香芝市単独の観光入込客数は一層分り難くなっている。

奈良県観光客動態調査に基づいて、観光入込客数の推移をみると、60万人台から70万人台で推移している。とくに2000年以降、減少傾向にある。月別にみると、4月の桜の花見の時期がピークで、10月の紅葉のシーズンがそれに続く。梅雨期6月、8月、9月の閑散期と4月、10月の繁忙期の季節変動が大きい。

#### 香芝市の観光対象・イベント

香芝市の代表的な観光対象物としては、二上山の自然や屯鶴峯の景観などが

挙げられるが、一方で、古墳群や寺社仏閣、石碑・石仏など歴史的遺構・遺物と呼ばれるものも数多く点在している。また、観光イベントも四季折々に開催され、多くの市民や観光客で賑わっている。なお、香芝市には2016年7月6日現在で、41件の文化財（国指定4件、県指定6件、市指定31件）が指定されている。その内訳は、有形文化財26件、民俗文化財6件、記念物9件となっている<sup>3</sup>。

以下、香芝市内の代表的な観光対象（地域資源）と想定されるものを列挙する。

- 自然・景観.....二上山、屯鶴峯、穴虫峠、旗尾池、専称寺のしだれ桜、観音寺の桜
- 古墳群.....今泉古墳、別所城山古墳、平野塚穴山古墳、狐井城山古墳
- 寺社.....十二社神社、鹿島神社、大坂山口神社逢坂、大坂山口神社  
穴虫、志都美神社、阿日寺、専称寺、観音寺、尼寺廃寺跡
- 天皇陵.....顕宗天皇陵、武烈天皇陵
- 遺構・遺物.....源信誕生地の石碑、福応寺の板仏、岡城跡
- イベント.....香芝ウォーク、香芝冬彩、かしば産業展、香芝ふれあいフェスタ
- 施設.....二上山博物館、香芝市ふたかみ文化センター、香芝市モナミホール

#### 香芝市内の石仏

香芝市内には幅広く石仏が点在している。確認されているだけでも41尊に上る。それらの中には、平安時代後期の「正楽寺の石造線刻阿弥陀如来坐像」や鎌倉初期の「念通寺の不動明王立像」などのように香芝市文化財に指定されているものもある。このような石仏群の広域的な建立は香芝市の地域的特徴である。



資料：香芝市より図版提供

### 香芝市の観光特産物（土産品）

これまで香芝市の特産物として、地域住民に認識されているものは比較的少ない。香芝市商工会では、2016年「KASHIBA+」を立ち上げ、地域ブランドの認定制度を整備している。すでに第1回香芝市地域ブランドとして、食品部門より3点、工業・工芸部門より1点、無形部門より3点の計7点が認定されている。

現在、香芝市の特産物や土産品として、「和菓子」「スイーツ・洋菓子」などを住民の多くは購入しているが、香芝市の地名をPRするものとしてはインパクトに欠けている。

## 2. 香芝市の観光資源に関するアンケート調査概要

### (1) 調査目的

香芝市の魅力的な観光資源を発掘していくために、香芝市内外の住民と来訪

## 観光資源発掘のための地域調査

者を対象として香芝市の代表的な観光資源・施設・イベント等についての認知度並びに、香芝市が今後観光PRを推進していく上で重要と思われる点、香芝市の土産品に対する住民の意向などについて明らかにする。

### (2) 調査日程

#### 第1回調査日

日 時：2016年2月13日（日）午前10時～午後3時

場 所：香芝市ふたかみ文化センター

対 象：相撲観光創造事業の参加者

調査手法：アンケート票による質問紙調査

回答者数：30件

#### 第2回調査日

日 時：2016年3月6日（日）

場 所：香芝市ふたかみ文化センター

対 象：第2回かしば産業展の参加者

調査手法：アンケート票による質問紙調査

回答者数：37件

アンケート票回収総数：67件

### (3) アンケート票集計結果<sup>4</sup>

#### 【単純集計結果】

##### 回答者の基本属性

性別では、女性が57%、男性が43%で過半数以上を女性が占めている。年代では、60代が29%で最も多く、40代の24%がこれに続く。20代以下と80代以上の比率が小さい。職業では、専業主婦が29%で最も多く、会社員と無職が18%、アルバイト・パートが17%でこれに続く。居住地では、香芝市内が64%、奈良県の他の市町村が23%、奈良県外が13%を占めている。

表1 基本属性

	項目	回答数	%
性別	男性	28	43.1
	女性	37	56.9
年代	10代	1	1.5
	20代	3	4.5
	30代	9	13.6
	40代	16	24.2
	50代	8	12.1
	60代	19	28.8
	70代	8	12.1
	80代以上	2	3.0
職業	会社員	12	18.5
	自営業	4	6.2
	公務員	2	3.1
	専業主婦	19	29.2
	自由業	1	1.5
	無職	12	18.5
	学生	2	3.1
	アルバイト・パート	11	16.9
	その他	2	3.1
居住地	香芝市内	40	64.5
	県内の他の市町村	14	22.6
	奈良県外	8	12.9

表2 香芝市の地域の魅力

項目	回答数	%
自然	27	40.3
景観・景色	27	40.3
寺社仏閣	11	16.4
歴史・文化	23	34.3
町並み	10	14.9
地域イベント	12	17.9
公共施設	7	10.4
その他	4	6.0
全体	67	100.0

香芝市の地域の魅力とはどのようなものか（複数回答）

香芝市の地域的魅力として、「自然」、「景色・景観」、「歴史・文化」を挙げ  
るものが多い。香芝市内に数多く点在する寺社について、魅力的と答えた比率  
は16%で比較的に小さい。また、香芝市内で実施されるイベントについても、  
魅力的と答えた比率は18%で小さい。



## 観光資源発掘のための地域調査

### 香芝市周辺の観光資源・施設・イベントについての認知度

香芝市周辺の観光資源・イベントに「行ったことがある」と回答したもので、最も多かったものは「二上山」の74%で、「二上山博物館」67%、「鹿島神社」50%と続く。それ以外のものは、20～30%前後の回答率となっている。「行ったことはない」が「知っている」と回答したものでは、「香芝ウォーク」が46%で最も多く、それ以外のものは、10%～20%台の回答率となっている。「知らない」と回答したものでは、「岡城跡」68%、「源信誕生地の石碑」67%、「平野塚穴山古墳」62%が6割以上を占め、それ以外のものは40%台から50%台の回答率となっている。総じて、香芝市周辺の社寺、古墳などの認知度は低い。

今後、香芝市を観光PRしていく上で、重要であると考えられるもの（複数回答）観光PRをしていく上で、重要と考えられると回答したもので最も多かったのは、「特産物や土産品の開発」の34%で、次「観光ホームページの充実」が30%で続く。回答率が20%台となったものでは、「イベントの開催」28%、「観光マップの充実」24%、「飲食施設の整備」24%、「幹線道路の整備」22%、「商店の整備」22%がある。「映画・テレビドラマのロケを誘致」の回答率が15%で挙がっており、近年のロケ地観光の流行に影響されたものと考えられる。

### 県外への土産にどのようなものを選ぶか（複数回答）

県外への土産として「和菓子」が61%で最も多く、「洋菓子・スイーツ」が49%で続く。「漬物」19%、「めん類」15%の回答は、香芝市の土産品としてではなく、「奈良漬」や「素麺」などを想定しているものと考えられる。

## 【クロス集計結果】

### 性別と年代

男女とも、60代が最も多く、40代がそれに続く。また20代以下の割合が男

表 3 香芝市周辺の観光資源等の認知度（回答件数）

観光スポット	全体	行ったことがある	知っている	知らない	不明
1. 別所城山	58	13	12	33	9
2. 十二社神社	60	21	14	25	7
3. 源信誕生地の石碑	57	12	7	38	10
4. 阿弥陀橋	59	17	7	35	8
5. 阿日寺	63	23	18	22	4
6. 狐井城山古墳	62	22	16	24	5
7. 福応寺の板仏	59	17	10	32	8
8. 専称寺のしだれ桜	60	23	11	26	7
9. 岡城跡	57	10	8	39	10
10. 二上山	66	49	13	4	1
11. どんづる峯	62	38	17	7	5
12. 二上山博物館	64	43	13	8	3
13. 鹿島神社	64	32	14	18	3
14. 下田金比羅宮社	61	19	12	30	6
15. 顕宗天皇陵	61	19	14	28	6
16. 大坂山口神社逢坂	62	25	13	24	5
17. 大坂山口神社穴虫	61	21	15	25	6
18. 観音寺の桜	58	15	13	30	9
19. 旗尾池	60	16	10	34	7
20. 志都美神社	62	25	11	26	5
21. 武烈天皇陵	61	19	14	28	6
22. 平野塚穴山古墳	60	15	8	37	7
23. 尼寺麿寺跡	58	16	12	30	9
24. 香芝ウォーク	63	19	29	15	4

女とも少ない。男性では、60代が29%で最も多く、40代、70代が21%で続く。20代以下、80代以上とも7%で少ない。女性では、60代が30%で最も多く、40代24%、30代19%で続く。70代が5%で低い。

観光資源発掘のための地域調査

表4 香芝市が観光PRしていく上で重要なこと

項目	回答数	%
1. 幹線道路の整備	15	22.4
2. 宿泊施設の充実	13	19.4
3. 特産物や土産物品の開発	23	34.3
4. パンフレット等の充実	3	4.5
5. 観光ホームページの充実	20	29.9
6. 観光協会の開設	9	13.4
7. 観光マップの充実	16	23.9
8. 観光施設の整備	9	13.4
9. 飲食施設の整備	16	23.9
10. イベントの開催	19	28.4
11. 名物料理の創出	6	9.0
12. おもてなしマナーの充実	4	6.0
13. 行政の観光予算の充実	6	9.0
14. 観光案内板の充実	9	13.4
15. 商店の整備	15	22.4
16. 外国人旅行者の受入れ体制の整備	6	9.0
17. 映画・テレビドラマのロケの誘致	10	14.9
18. その他	4	6.0
全体	67	100.0

居住地と香芝市の地域の魅力

香芝市の地域の魅力として、「自然」を挙げるものが最も多く、香芝市内では67%に上る。奈良県内の他市町村では、「公共施設」が57%で最も多く、奈良県外では、「その他」を除き、「景観・景色」が15%で最も多くなっている。居住地による違いが見られる。

居住地と観光スポットの認知度

香芝市、奈良県他の市町村、奈良県外のそれぞれの住民にとって、香芝市

表5 県外土産で選ぶもの

項目	回答数	%
1. 飲料・酒類	17	25.4
2. 米・雑穀	4	6.0
3. 和菓子	41	61.2
4. 洋菓子・スイーツ	33	49.3
5. フルーツ・果物	5	7.5
6. 肉・肉加工品	0	0.0
7. 水産物・水産加工品	2	3.0
8. めん類	10	14.9
9. 惣菜	4	6.0
10. 漬物	13	19.4
11. 調味料	5	7.5
12. 民芸品	4	6.0
13. その他	4	6.0
全体	67	100.0

で最も認知度の高いのは「二上山」である。「行ったことがある」「知っている」を合せて62件に上る。特に香芝市内では「行ったことがある」74%、「知っている」31%で、「知らない」と回答したものはいない。全体で「知らない」と回答したもので最も多いのは「平野塚穴山古墳」で37件である。奈良県他の市町村で「知らない」と回答したもので最も多いのは、「福応寺の板仏」の85%、奈良県外では、「別所城山」「源信誕生の地の石碑」「阿弥陀橋」「狐井城山古墳」「福応寺の板仏」「岡城跡」「鹿島神社」の7カ所が100%知られていない。「香芝ウォーク」は、奈良県外の住民の認知度は比較的に高い。香芝市の住民にとって、「行ったことはないが、知っている」と回答したもので「香芝ウォーク」が最も多くなっている。

観光資源発掘のための地域調査

表 6 性別と年代

	合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
男性	28	0.0	7.1	7.1	21.4	7.1	28.6	21.4	7.1
女性	37	2.7	2.7	18.9	24.3	13.5	29.7	5.4	0.0

表 7 香芝市の地域魅力と居住地

	香芝市内	県内他市町村	奈良県外
自然	66.7	22.2	7.4
景観・景色	59.3	18.5	14.8
寺社仏閣	36.4	27.3	9.1
歴史・文化	52.2	26.1	13.0
町並み	60.0	20.0	10.0
地域イベント	58.3	25.0	16.7
公共施設	42.9	57.1	0.0
その他	75.0	0.0	25.0

性別と観光 PR での重要点

香芝市の観光 PR で重要と考えているもので、男性では、「幹線道路の整備」が 32% で最も多く、女性では、「特産物や土産物品の開発」が 41% で最も多くなっている。男性の場合、自家用車での来訪を想定していると考えられる。女性よりも男性の方が、重要と考えているものとして、「幹線道路の整備」「観光協会の開設」「観光施設の整備」「行政の観光予算の充実」「外国人旅行者の受け入れ体制の整備」が挙げられる。女性が上回るものは、「観光マップの充実」では女性が 75% で、男性が 25%、「商店の整備」では女性が 73% で、男性が 27% である。「観光協会の開設」では、男性が 56% で女性 44% を上回っている。また「宿泊施設の充実」では女性が 77% で男性 23% を上回っている。

表8 居住地と観光スポットの認知度

観光スポット	訪問経験・認知	合計	居住地		
			香芝市内	県内他市町村	奈良県外
別所城山	行ったことがある	13	92.3	7.7	0.0
	知っている	12	75.0	16.7	0.0
	知らない	33	42.4	30.3	21.2
十二社神社	行ったことがある	21	85.7	4.8	4.8
	知っている	14	50.0	28.6	7.1
	知らない	25	44.0	32.0	20.0
源信誕生地の石碑	行ったことがある	12	83.3	8.3	0.0
	知っている	7	71.4	14.3	0.0
	知らない	38	50.0	26.3	18.4
阿弥陀橋	行ったことがある	17	88.2	5.9	0.0
	知っている	7	42.9	28.6	0.0
	知らない	35	51.4	25.7	20.0
阿日寺	行ったことがある	23	82.6	4.3	0.0
	知っている	18	61.1	16.7	11.1
	知らない	22	36.4	40.9	22.7
狐井城山古墳	行ったことがある	22	90.9	4.5	0.0
	知っている	16	68.8	18.8	0.0
	知らない	24	29.2	37.5	29.2
福応寺の板仏	行ったことがある	17	94.1	0.0	0.0
	知っている	10	70.0	20.0	0.0
	知らない	32	37.5	34.4	21.9
専称寺のしだれ桜	行ったことがある	23	82.6	4.3	4.3
	知っている	11	72.7	27.3	0.0
	知らない	26	34.6	34.6	23.1
岡城跡	行ったことがある	10	100.0	0.0	0.0
	知っている	8	62.5	37.5	0.0
	知らない	39	48.7	25.6	17.9
二上山	行ったことがある	49	73.5	10.2	6.1
	知っている	13	30.8	53.8	15.4
	知らない	4	0.0	50.0	50.0
どんづる峯	行ったことがある	38	68.4	13.2	7.9
	知っている	17	70.6	17.6	11.8
	知らない	7	14.3	57.1	28.6

観光資源発掘のための地域調査

二上山博物館	行ったことがある	43	72.1	9.3	11.6
	知っている	13	53.8	30.8	0.0
	知らない	8	12.5	62.5	25.0
鹿島神社	行ったことがある	32	87.5	3.1	0.0
	知っている	14	57.1	28.6	0.0
	知らない	18	16.7	44.4	38.9
下田金比羅宮社	行ったことがある	19	94.7	0.0	5.3
	知っている	12	50.0	33.3	0.0
	知らない	30	46.7	30.0	20.0
顕宗天皇陵	行ったことがある	19	84.2	5.3	5.3
	知っている	14	64.3	21.4	7.1
	知らない	28	42.9	32.1	17.9
大坂山口神社 逢坂	行ったことがある	25	88.0	4.0	0.0
	知っている	13	38.5	30.8	7.7
	知らない	24	41.7	33.3	25.0
大坂山口神社 穴虫	行ったことがある	21	85.7	4.8	0.0
	知っている	15	46.7	33.3	6.7
	知らない	25	44.0	28.0	24.0
観音寺の桜	行ったことがある	15	80.0	6.7	0.0
	知っている	13	53.8	38.5	7.7
	知らない	30	46.7	23.3	20.0
簗尾池	行ったことがある	16	87.5	6.3	0.0
	知っている	10	60.0	30.0	0.0
	知らない	34	44.1	26.5	20.6
志都美神社	行ったことがある	25	88.0	4.0	0.0
	知っている	11	45.5	27.3	9.1
	知らない	26	38.5	34.6	23.1
武烈天皇陵	行ったことがある	19	89.5	5.3	0.0
	知っている	14	50.0	28.6	14.3
	知らない	28	46.4	28.6	17.9
平野塚穴山 古墳	行ったことがある	15	80.0	6.7	0.0
	知っている	8	37.5	37.5	12.5
	知らない	37	54.1	24.3	16.2
尼寺麁寺跡	行ったことがある	16	87.5	6.3	0.0
	知っている	12	41.7	33.3	16.7
	知らない	30	53.3	26.7	16.7
香芝ウォーク	行ったことがある	19	84.2	5.3	5.3
	知っている	29	58.6	17.2	10.3
	知らない	15	33.3	46.7	20.0

表9 性別と観光PRでの重要点

		合計	性別	
			男性	女性
観 光 P R で の 重 要 点	1. 幹線道路の整備	15	60.0	40.0
	2. 宿泊施設の充実	13	23.1	76.9
	3. 特産物や土産物品の開発	23	30.4	65.2
	4. パンフレット等の充実	3	0.0	100.0
	5. 観光ホームページの充実	20	40.0	60.0
	6. 観光協会の開設	9	55.6	44.4
	7. 観光マップの充実	16	25.0	75.0
	8. 観光施設の整備	9	66.7	33.3
	9. 飲食施設の整備	16	43.8	56.3
	10. イベントの開催	19	36.8	52.6
	11. 名物料理の創出	6	50.0	50.0
	12. おもてなしマナーの充実	4	25.0	75.0
	13. 行政の観光予算の充実	6	66.7	33.3
	14. 観光案内板の充実	9	44.4	55.6
	15. 商店の整備	15	26.7	73.3
	16. 外国人旅行者の受入れ体制の整備	6	66.7	33.3
	17. 映画・テレビドラマのロケの誘致	10	40.0	60.0
	18. その他	4	25.0	75.0

#### 年代と観光PRでの重要点

年代では、10代、20代、80代のサンプル数が少ないので比較は難しいが、サンプル数の多いものでは、「特産物や土産物品の開発」が23件で観光PRで最も重要であると考えられている。また、「観光ホームページの充実」「イベントの開催」が次いで多く、特に60代、40代に支持されている。「宿泊施設の充実」では、50代、40代の回答が比較的多い。



観光資源発掘のための地域調査

表 10 年代と観光 PR での重要点

	合計	年 代								
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	
観 光 P R で の 重 要 点	1. 幹線道路の整備	15	0.0	6.7	13.3	20.0	13.3	33.3	13.3	0.0
	2. 宿泊施設の充実	13	0.0	0.0	15.4	38.5	30.8	7.7	7.7	0.0
	3. 特産物や土産物品の開発	23	4.3	0.0	13.0	30.4	21.7	26.1	4.3	0.0
	4. パンフレット等の充実	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	5. 観光ホームページの充実	20	0.0	5.0	10.0	25.0	15.0	30.0	10.0	5.0
	6. 観光協会の開設	9	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	44.4	33.3	11.1
	7. 観光マップの充実	16	0.0	12.5	12.5	18.8	6.3	37.5	12.5	0.0
	8. 観光施設の整備	9	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	55.6	11.1	22.2
	9. 飲食施設の整備	16	0.0	6.3	25.0	31.3	12.5	18.8	0.0	6.3
	10. イベントの開催	19	0.0	10.5	26.3	31.6	15.8	5.3	10.5	0.0
	11. 名物料理の創出	6	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	16.7	0.0
	12. おもてなしマナーの充実	4	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	13. 行政の観光予算の充実	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	16.7	16.7
	14. 観光案内板の充実	9	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	44.4	22.2	0.0
	15. 商店の整備	15	0.0	6.7	20.0	33.3	13.3	26.7	0.0	0.0
	16. 外国人旅行者の受入れ体制の整備	6	0.0	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0
	17. 映画・テレビドラマのロケの誘致	10	0.0	0.0	10.0	40.0	10.0	40.0	0.0	0.0
	18. その他	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0

居住地と観光 PR での重要点

全体では、「特産物や土産物品の開発」が観光 PR として最も重要であると考えられているが、奈良県の他の市町村の住民では、「イベントの開催」が 37% で最も多く、奈良県外では、「観光ホームページの充実」が 25% で最も多くなっている。「観光案内板の充実」「商店の整備」「外国人旅行者の受入れ体制の整備」「映画・テレビドラマのロケの誘致」は香芝市の住民では、回答比率は高いが、他の市町村、奈良県外では回答比率は低い。「特産物や土産物品の開発」「観光マップの充実」「飲食施設の整備」は、香芝市、県内の他の市町村、

表 11 居住地と観光 PR での重要点

		合計	居住地		
			香芝市内	県内他市町村	奈良県外
観 光 P R で の 重 要 点	1. 幹線道路の整備	15	73.3	20.0	0.0
	2. 宿泊施設の充実	13	69.2	15.4	7.7
	3. 特産物や土産物品の開発	23	56.5	21.7	8.7
	4. パンフレット等の充実	3	66.7	0.0	0.0
	5. 観光ホームページの充実	20	50.0	10.0	25.0
	6. 観光協会の開設	9	66.7	22.2	0.0
	7. 観光マップの充実	16	56.3	31.3	12.5
	8. 観光施設の整備	9	55.6	22.2	22.2
	9. 飲食施設の整備	16	62.5	18.8	18.8
	10. イベントの開催	19	47.4	36.8	5.3
	11. 名物料理の創出	6	83.3	16.7	0.0
	12. おもてなしマナーの充実	4	50.0	25.0	0.0
	13. 行政の観光予算の充実	6	66.7	33.3	0.0
	14. 観光案内板の充実	9	77.8	0.0	11.1
	15. 商店の整備	15	80.0	6.7	6.7
	16. 外国人旅行者の受入れ体制の整備	6	100.0	0.0	0.0
	17. 映画・テレビドラマのロケの誘致	10	90.0	0.0	10.0
	18. その他	4	75.0	0.0	25.0

奈良県外のどの住民にとっても、比較的に高い回答比率を占めている。

#### 性別と土産品購入

奈良県外に持って行く土産として、「和菓子」「洋菓子・スイーツ」とも性別に関係なく回答件数は多いが、男性より女性の回答比率が高い。「飲料・酒類」「めん類」では、男性が女性を上回る。「めん類」の回答は、男性が78%で、女性の22%をかなり上回る。

観光資源発掘のための地域調査

表 12 性別と土産品購入

		合計	性別	
			男性	女性
全 体		65	43.1	56.9
土 産 品	1. 飲料・酒類	17	52.9	47.1
	2. 米・雑穀	4	50.0	50.0
	3. 和菓子	39	41.0	59.0
	4. 洋菓子・スイーツ	31	32.3	67.7
	5. フルーツ・果物	5	20.0	80.0
	6. 肉・肉加工品	0	0.0	0.0
	7. 水産物・水産加工品	2	50.0	50.0
	8. めん類	9	77.8	22.2
	9. 惣菜	4	25.0	75.0
	10. 漬物	13	38.5	61.5
	11. 調味料	5	40.0	60.0
	12. 民芸品	4	25.0	75.0
	13. その他	4	50.0	50.0

年代と土産品購入

サンプル数の比較的多い、40代と60代を比べると、両年度代とも「和菓子」が最も多く、次に「洋菓子・スイーツ」が続く。40代では、「飲料・酒類」が47%で60代に比べて多く、60代では、「漬物」が62%で40代に比べて多い。「めん類」は、20代、50代、60代、70代で他の年代に比べて比較的高い回答比率を占める。

居住地と土産品購入

全体で「和菓子」が最も多く、その内香芝市が61%を占める。また、香芝市の「洋菓子・スイーツ」の回答率58%が、他の市町村、奈良県外に比べて高い。奈良県内の他の市町村では、回答件数として「めん類」「漬物」が上位

表 13 年代と土産品購入

	合計	年 代								
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	
1. 飲料・酒類	17	0.0	5.9	5.9	47.1	11.8	23.5	5.9	0.0	
2. 米・雑穀	4	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	
3. 和菓子	41	2.4	4.9	14.6	31.7	12.2	24.4	9.8	0.0	
4. 洋菓子・スイーツ	33	3.0	6.1	21.2	33.3	9.1	24.2	3.0	0.0	
5. フルーツ・果物	5	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	
6. 肉・肉加工品	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
7. 水産物・水産加工品	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
8. めん類	10	0.0	10.0	0.0	10.0	30.0	30.0	20.0	0.0	
9. 惣菜	4	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	
10. 漬物	13	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4	61.5	15.4	0.0	
11. 調味料	5	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0	
12. 民芸品	4	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	
13. その他	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	

を占める。これは、奈良の名物である素麺や奈良漬を想定していると考えられる。

## おわりに

香芝市には、豊富な歴史的遺構や遺産が存在するものの、それらを観光資源として、観光誘致に対して有効に活用できていない。市内には、二上山の景観や屯鶴峯などの素晴らしい自然資源があり、古墳群や寺社仏閣、石碑・石仏などの歴史的遺構・遺物と呼ばれるものが数多く点在している。しかし、これらが住民をはじめ観光客や来訪者に対して、観光資源として認知されていない。観光資源とは観光対象として認知されて始めて観光資源になり得るものであり、地域に如何にすばらしい地域資源があったとしても、観光対象として来訪者に

観光資源発掘のための地域調査

表 14 居住地と土産品購入

	合計	居住地			
		香芝市内	県内他市町村	奈良県外	
全体	67	59.7	20.9	11.9	
土産品	1. 飲料・酒類	17	64.7	17.6	11.8
	2. 米・雑穀	4	75.0	25.0	0.0
	3. 和菓子	41	61.0	19.5	12.2
	4. 洋菓子・スイーツ	33	69.7	18.2	9.1
	5. フルーツ・果物	5	60.0	20.0	20.0
	6. 肉・肉加工品	0	0.0	0.0	0.0
	7. 水産物・水産加工品	2	0.0	50.0	50.0
	8. めん類	10	40.0	40.0	10.0
	9. 惣菜	4	25.0	50.0	0.0
	10. 漬物	13	61.5	30.8	0.0
	11. 調味料	5	80.0	0.0	20.0
	12. 民芸品	4	50.0	50.0	0.0
	13. その他	4	50.0	0.0	50.0

魅力的なものでなければ、単なる歴史的遺物や遺構でしかない。

今回の調査より、香芝市の観光対象としての主要な特徴を纏めると以下のよう  
に指摘できる。 豊富な歴史的遺産：香芝市内には、観光対象となり得る古  
墳群や天皇陵などの歴史的遺産が市内に数多く内在している。 魅力的な自然  
景観：香芝市の住民や来訪者にとって、「二上山」が最も魅力的な観光対象で  
ある。 信仰の場としての神社：香芝市内には、24 の神社が鎮座している。  
これらは地域に根ざした信仰の場を大切に守り伝えている。 石仏と道標：香  
芝市内に点在する 41 尊の石仏と古道の分岐点となる道標が所在している。  
観光イベントの参加者は中高年世代が中心：香芝市の観光イベント（香芝ウォー  
ク、かしば産業展等）への参加者の大半は中高年世代である。 日帰り観光地：

香芝市は、大阪や京都、奈良県内などの近隣地域からの日帰り観光地としての性格が強い。

現在、香芝市内の観光入込客の動向を把握する香芝市独自の統計資料は存在しない。統計的に把握する場合、奈良県の観光客動態調査に基づくものに限られている。奈良県の観光客動態調査では、香芝市はBエリアとして、大和高田市、大和郡山市、葛城市と同じエリアに組み込まれており、香芝市内への直接の観光入込客数は統計的に把握できていない。香芝市の入込客数としては、二上山博物館の入館者数に限られている。香芝市を訪れる来訪者にとって何が魅力的なものであり、より魅力的なものにしていくためには何が必要なのかエビデンスに基づく分析が今後とも必要とされる。

## 注

- 1 本稿は、「奈良県立大学との連携による香芝市観光振興・地域活性化を図るための研究及び基本調査事業」での成果報告の一部を抽出し論文として取り纏めたものである。
- 2 香芝市ホームページを参照。
- 3 大阪山は神社神像および宝物類は有形文化財と民俗文化財の両方に指定されている。
- 4 数値は小数第1位を四捨五入したものである。

## 参考・引用文献

- 麻生憲一（2006）、「第3章観光資源の活用と地域活性化策」、所収愛知大学経営総合科学研究所『観光とまちづくり - 長野県小布施町を対象として -』、愛知大学経営総合科学研究所叢書 28, 29-48.
- 麻生憲一（2007）、「第3章観光客入込数から捉えた地域特性 - 富山県と奈良県を事例として -」、所収愛知大学経営総合科学研究所愛知大学経営総合科学研究所叢書 30, 45-58.
- 麻生憲一（2009）、「第3章地域資源の活用による観光まちづくり - 岩国市と尾道市の事例として -」、所収愛知大学経営総合科学研究所『観光まちづくり』、愛知大学経営総合科学研究所叢書 34, 21-36.
- 麻生憲一（2015）、「第2章高山市の観光動向と観光まちづくり」、愛知大学経営総合科学研究所『岐阜県高山のまちづくり』、愛知大学経営総合科学研究所叢書 45, 9-18.
- 麻生憲一（2016）、「観光統計からみた奈良県観光の実態」奈良県立大学研究季報、第26巻第3号、65-76.

## 観光資源発掘のための地域調査

奈良県都市計画研究会編（2004）、「奈良県の都市計画近代都市計画と都市計画区域マスタープラン」、清文社.

### 資料

国土交通省編、「平成 27 年版観光白書」独立行政法人国立印刷局  
奈良県総務部統計課編（2005）、「100 の指標からみた奈良県勢平成 17 年版」、奈良県。  
（社）日本観光協会、「全国観光動向 - 都道府県別観光地入込客統計 - 」各年版。  
（社）日本観光協会、「数字でみる観光」2014 年度版。